

第6回 市民と市長の「語ろう会」 ご意見一覧(要約)

第1部 「境南地域のこれから」交通環境・コミュニティについてなど

No.	ご意見	市の回答対応方針
1	現在、天文台通りの道路拡張が行われている。天文台通りは、東京都が所有している土地と民地でできているが、東京都は、民地について使用料も払わずに使用している。道路拡張にあたっては、そのあたりを整理した上で、拡張してほしいと考えている。市から東京都に伝えてほしい。	天文台通りは都道であるため、基本的に拡張工事等については東京都が主導して実施していくものと考えている。 市として、現状を調べるとともに、ご意見があったことについては東京都の北多摩南部建設事務所に共有させていただきたい。
2	災害があった場合の避難場所等について教えてほしい。	市内の小中学校18校及び都立高校2校を避難所としている。武蔵野市では災害があった後も自宅が安全であれば自宅での生活を継続する「在宅避難」を推奨している。 本市では、防災用の携帯トイレの配布や家具転倒防止金具等の購入費の補助等を実施しており、災害対策に力を入れているが、皆様にも災害対策として、ご自身で3日分の食料と水分の備蓄等をお願いできればと考えている。 各地域で自主防災組織による訓練等も実施しているかと思うので、ぜひ参加していただきたい。
3	武蔵野プレイス前の広場の改修計画に盆踊り大会のやぐらの設置や実施時期に対する配慮をしているか。	武蔵野プレイス前にある境南ふれあい広場公園は、盆踊りをはじめ様々なイベントを行っており、地域の方々に親しまれる公園であると認識している。 盆踊り大会のみに関わらず、従前より行われているイベントについては、テントの配置等を検証し、既存のイベントは引き続き実施できることを基本に設計を進めている。但し、改修後は芝生とイベントの共存を目指していくこととなるため、イベント時の具体的な利用方法については、各イベント主催者と協議をしながら進めていきたい。
4	富士見通りと天文台通りの角の交差点は、朝の時間帯に通学路になっているが、安全対策のため毎朝ボランティアが手動で通行禁止の馬を出している。これを遮断機等を付けるなど自動化できないか。また、自転車のスピード抑制のために、富士見通りをムーバスの運行ルートにしてもらい、自転車利用者等に注意喚起ができないか。	いつも交通整理していただき、感謝申し上げます。 遮断機等の設置については、緊急車両や歩行者の通行等の支障となる他、地下埋設物と干渉することや設置費用等の点から、現状として難しいと考えている。 ムーバスの運行ルートの変更は、様々な制約があるため難しいと考えている。 富士見通り付近の自転車の交通環境については、市から武蔵野警察署にも共有させていただきたい。
5	電動アシスト自転車がスピードが速くて、とても危険であると思っている。市で規制することはできないか。	交通ルールについては、武蔵野警察署とも連携しながら、市でも周知してまいりたい。
6	武蔵境駅周辺で被災した場合の具体的な行動指針等を定めているか。	吉祥寺駅周辺で実施している帰宅困難者訓練に合わせて三鷹駅周辺、武蔵境駅周辺も含めて実施している。今年度からは都のシステム(キタコンDX)を使用した検証を行う。
7	天文台通りの水道管が老朽化していると考えている。市として対策していることを教えてほしい。	東京都には、水道の一元化と都道に入っている老朽化した水道管については、なるべく早く交換してほしいと要望している。 天文台通りに布設している水道管については、現在実施している東京都の道路拡幅工事の先行工事として水道管の布設替えを継続的に行っている。また、それまでの間は、定期的な水道管の漏水調査を実施し漏水の早期発見・早期修繕に努めている。
8	武蔵境から市役所等に行くバスを運行してほしい。 また、ムーバスの東循環のバス停が境南コミセンから遠いため、ルートの変更はしてほしい。	かつては、武蔵境駅から市役所行き民間バスがあったが、あまり利用している方がいっしょらなかつたため、採算がとれず廃止になった経緯もあるので、新設するのは難しいと思っている。 ムーバスの運行ルートの変更は、様々な制約があるため難しいと考えている。

第2部 市政全般について

1	<p>武蔵野プレイスの図書の貸出期間を過ぎた方への罰則は、14日を超えた方にのみ適用されるが、予約している方がいる場合には、もっと短くすべきではないか。また、本人に連絡を取った際に、至急返してではなく本日中に返すよう促すべきではないか。</p>	<p>図書は共有の財産であり、ご意見があったことを担当課に伝えさせていただきたい。</p> <p>図書館では資料の返却期限を過ぎた方への罰則として、返却期限後14日を超えた場合に貸出停止としているが、予約が入っている資料の場合、返却期限の翌日に督促する運用をすでに行っている。</p> <p>貸出停止とするまでの期間を短くするルールとすべきかについては、今後の同種意見の提出状況等を考慮した上で、近隣市区町村の運用を参考に研究する必要があるが、体調悪化により来館できない等、やむを得ない事由もあることを踏まえ、慎重に考える必要があると思っている。</p>
2	<p>高額介護(介護予防)サービス費の通知が何十円でも毎回郵送で送付されてくるが、郵送料をかけて毎回通知する必要があるのか。半年とか1年まとめて送ってもらったほうが、税金の無駄にならないし、事務の負担も減るのではないか。</p>	<p>お返しするべきものは、なるべく早く通知して返金すべきであると考えているため、まとめて通知するというのは難しいかと思うが、ご意見があったことは担当課に共有させていただきたい。</p> <p>該当月にお支払いになった金額について、一定額を超えた場合にその超えた金額についてお支払いをする制度となっている。人により1回あたり数円から数万円のお振込みとなるが、毎月15日にお振込みを行い、その前日にお振込み内容についてお知らせすべく決定通知書を郵送させていただいている。お振込み金額については、ご利用者様の収入や世帯構成、サービス利用量により皆様異なっており、支給金額の多寡にかかわらず、皆様一律にお知らせをさせていただいているので、ご理解とご協力をいただきたい。</p>
3	<p>市長に就任された際に掲げた吉祥寺駅南口のまちづくりなどの政策の進捗状況を伺いたい。</p>	<p>吉祥寺駅南口のまちづくりについては、令和9年度の吉祥寺パークエリアまちの将来像策定に向けて、本年3月より、駅前の地権者を含む市民、まちの関係者との対話の場「きちば未来会議」を開催する予定。開催状況や会議で整理された意見は、ホームページなどで公表し、見える化を図っていきたいと考えている。</p> <p>防災については、1年目は、家具転倒防止金具等の補助事業、2年目は携帯用トイレを配布させていただいた。来年度はさらに全世帯を対象とした感震ブレーカーの配布事業を実施する予定である。</p> <p>三鷹駅周辺については、補助幹線道路の整備とともに駅前広場の改修も進めていきたい。</p> <p>学校の統廃合については、いったん白紙に戻したので、地域の方のご意見も伺いながら今後のあり方を検討していきたいと考えている。</p> <p>吉祥寺南病院については、令和7年3月に継承法人が「社会医療法人社団 東京巨樹の会」に決定し、市と当該法人の間で病院の整備プランを調整している。東京都ともベット数等を協議している。</p>
4	<p>第二中学校と第六中学校の統合については、再検討となった。今後の学校の統合について、全市的にどのように取り組む予定か聞きたい。</p>	<p>現在、第二期学校施設整備基本計画策定審議会において、子どもの学びを第一に、全市的な視点から中学校の適正な数や未来における教育を見据えた校舎のあり方について、建築面や財政面など様々な観点も含めて審議されているところである。</p> <p>計画策定にあたってはパブリックコメントを実施し、広く市民からの意見も聞きながら計画を策定していく予定である。</p>
5	<p>第二中学校と第六中学校の統合については、適正規模や通学範囲等を考慮して検討してほしい。</p>	<p>地域の皆様とも相談しながら、検討してまいりたい。</p>
6	<p>市議会だより(No.403)の4ページの本会議における審議結果に「武蔵野市内の小・中学校における「いじめ」をなくす取組に関する陳情」が不採択になったと記載があった。この件についてどのように考えているか。また、陳情の名称のみだと不採択となった理由がわからないのではないか。</p>	<p>市議会の陳情審査によって不採択となったので、市長としてお答えする立場にないが、陳情の記書き(具体的な要望内容)から判断したのでないかと考えている。市議会だよりの記載方法については、議会事務局にご意見を伝えたい。</p>
7	<p>学校における放課後の学習支援教室には補助が出ていると思うが、加えて地域の学習支援教室についても補助を出してほしい。</p>	<p>ご意見があったことは教育委員会の担当課に共有させていただきたい。</p> <p>現在、学校の学習支援教室には会計年度任用職員(学習支援教室等指導員)を配置している。地域の学習支援教室については実施・運営内容や参加者の様子など現状について研究していきたい。</p>

8	免許証を返納した方にムーバスの無料乗車券を配るなど事業を検討してほしい。	東京都では、免許証を返納した方へのサービスがあることは把握しているが、市で加えて何かするべきかは、今回のご意見も踏まえて担当課とも研究してまいりたい。
9	物価高騰対策として知的障害者の方に対する家賃補助の補助金額をあげてほしい。	障害のある方の福祉の増進を図ることを目的として、民間賃貸住宅を借りている方やグループホームに居住されている方に向けた補助を実施している(所得等の要件あり)。多くの方に利用されている制度でもあり、制度を安定的に運営するために、補助額を上げることは難しいと考えている。障害年金や特別障害者手当等は物価に合わせた額の改定を行っており、様々な制度を活用して、総合的に障害のある方の生活の支援が行われている。 物価高騰対策としては、その影響が及ぶ全市民を対象として、国の交付金の趣旨を踏まえ幅広い食料品等の購入が可能な5,000円分のギフトカードを配付することとしている。
10	少子化による労働人口の減少に伴い、現在実施している行政サービスで縮小される予定のサービスはあるか。また、外国人の方が従事している行政サービスはあるか。	少子化による労働人口の減少に伴い、縮小する予定の行政サービスは現在のところない。 また、外国人の方が従事している行政サービスの事例として、多文化共生に関する事業の他、業務委託をしているごみ収集業務や、市が発注する工事等において外国人の方も従事されていると認識している。 7月に市内のゴミ回収の体験をさせていただいた。委託事業にはなるが、ドライバーの方は外国人であったと記憶している。
11	現在様々な事業で、オンライン化が進み、学生同士の直接の交流が少なくなっている。市として学生同士の交流を促すような取組みを行ってほしい。	中高生の居場所や交流場所づくりについては、市の東地区については本町コミセンの移転に伴い新たに建設する複合施設内に作る予定であり、中央地区に関しては保健センターの改修に伴い北側に建設する増築棟に作る予定である。これから様々な機会でご意見を聞きながら、実施していきたいと考えている。 大学生の居場所づくりについても、今回いただいたご意見を踏まえて研究してまいりたい。
12	武蔵野スイングホールにイタリア製の高額なピアノが置いてあった。比較的安価な国内製で品質が良いピアノもあるので、今後は市民の税金であること理解した上で、検討してほしい。	良いピアノに市民の方に触れていただくことも文化醸成に大切であると考えており、市議会も含めて様々議論して、最終的に購入させていただいた。

事前に文書で提出された意見(要約)

No.	ご意見	市の回答対応方針
1	武蔵境の駅から市役所まで乗り換えしないで行けるバスの運行を検討してほしい。	<p>乗務員不足が深刻化する現状においてムーバスの増便や新たな路線を整備すること、特定の施設間を結ぶ路線を整備することは大変難しいと考えている。</p> <p>本市では、鉄道、路線バス、ムーバス及びタクシーによる公共交通と、レモンキャブ、つながり及び福祉タクシーによる福祉交通が整備され、利便性の高い地域公共交通のネットワークが形成されている。ムーバス単体で全てのニーズに応えることは難しいため、総合的な地域公共交通ネットワークとして対応することが重要だと考えている。</p> <p>【参考】ムーバスの基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムーバスは、バス交通空白・不便地域を解消し、市民の街への外出を支援することを目的として、地域と駅をつなぐルートとすることを基本的な考え方としている。 ・運行ルートは、路線バスの運行ルートと重複しないことを基本とし、駅を起終点に1周5km、30分程度で循環することを目途に設定している。 ・現在の7路線・9ルートが整備されたことにより、バス交通空白・不便地域は概ね解消されたと考えている。
2	自転車通行者に対して、信号機の順守や歩道内の歩行者優先などのルールの徹底をさせてほしい。	<p>自転車は道路交通法上「軽車両」に位置付けられ、道路交通法違反の自転車に対する指導・警告や取締りについては、市には権限はなく、警察署の所管となるが、自転車の危険運転については、市として大きな課題と認識しており、自転車安全利用の推進を重要施策と位置付けている。</p> <p>安全利用の推進は、自転車安全利用講習会をはじめとする「交通安全教育」、警察による道路交通法違反の自転車に対する「指導・警告や取締り」、自転車誘導レーン等の走行空間に関する「走行環境整備」の3つの柱を基本として進めており、自転車安全利用講習会については、毎月開催している。</p> <p>また、市では、自転車の安全利用を啓発する新たな手段として、いつでも簡単に交通ルールやマナーを学べる動画コンテンツを制作し、YouTube武蔵野市公式動画チャンネルで配信するとともに、吉祥寺及び武蔵境の大型ビジョンでの動画コンテンツの放映や、市役所駐輪場など市内施設での出張自転車点検整備、エフエムむさしのでの自転車安全利用啓発ラジオ放送なども行い、自転車安全利用の啓発に努めている。</p> <p>今後も、市では、自転車利用のルール徹底や交通マナーの向上といったソフト面、自転車ナビライン等の設置といったハード面の両面から取り組みを行うとともに、警察署、交通安全協会、商店会等と相互に連携して積極的な啓発を行っていききたい。また、SNSや大型ビジョンでの動画放映、出張自転車点検整備やエフエムむさしの等を活用した自転車の安全利用の啓発にも積極的に取り組みたい。</p>
3	以前実施していた残土の回収を再開してほしい。	<p>土は一般廃棄物ではなく、また本市においてはごみ処理場の機能に支障が出るため、市による収集を行っていない。相応の費用を負担することで処理できる(捨てられる)民間事業者が存在している状況なので、現時点では残土(園芸用土など)の収集・回収をすることは考えていない。市へ問合せがあった際には、民間の回収業者を紹介している。</p> <p>近隣自治体の状況を研究しつつ、市民ニーズ、政策の目的、予算、実施体制などを総合的に踏まえて、まずはイベントで回収するなど今後について検討していきたい。</p>

4	子供たちが自由に遊べる施設を作ってほしい。	本市では、未就学の子どもとその保護者が過ごせる場として、0123施設をはじめとした常設の子育てひろばを9カ所設けている。今後も市民会館大規模改修や保健センター増築及び複合施設整備に伴い、新たな子育てひろばが開設される予定である。また、市内16カ所にあるコミュニティセンターにおいても、月1～4回、コミセン親子ひろばを実施している。あわせて市内で子育てひろばを運営している子育て支援団体、専門機関等による子育てひろばネットワークを構築している。民間団体も含め、さまざまな立場から、それぞれの特徴を生かしながら子育てひろばを運営しており、各団体が連携しながら、武蔵野市で安心して子育てができるよう環境を整えている。中高生の居場所や交流場所づくりについては、市の東地区については本町コミセンの移転に伴い新たに建設する複合施設内に作る予定であり、中央地区に関しては保健センターの改修に伴い北側に建設する増築棟に作る予定である。ただし、未就学児や小学生を対象にした児童館のような新たな施設については、計画していない。
5	高齢者も多く地域で車通りが激しい境南5丁目、井口交差点から4丁目交差点までの間に信号を付けてほしい。	信号の設置に関しては交通管理者である武蔵野警察署が所管となる。当該要望事項について武蔵野警察署へ共有した。詳細な要望事項がある場合は、直接武蔵野警察署へ連絡をしてもらいたい。
6	青少年問題協議会の予算の多くがバス研修に使われているが、メンバーはほとんどが高齢者である。参加するのは一部の人であるし、そのために研修という旅行をするなら賄賂であると思うがどのように考えているか。役員は有償ボランティアとし、研修は目的を明確にし、参加者への研修レポートを必須として欲しい。青少年に使われるべき予算が何に利用されているのかしっかり知らせてほしい。	青少協地区委員会のバス研修については、各地区委員会ごとに企画し年一度実施している地区事業となっている。参加者の構成については、企画内容に応じて参加する年齢層も変わってくるようになるが、各地区委員として所属して下さっている方々にお声がけをし、参加を募っている。研修の目的も企画ごとに異なってくるが、共通している目的は、地区委員同士の交流であり、今後の地区委員会活動の活性化である。また、新たな地区委員発掘のための繋がりづくりという面も担っている。そのため参加者全員の研修レポートの提出については難しいと考える。現在は青少協地区委員会の活動は無償ボランティアであるが、青少協地区委員活動を有償ボランティアにするかどうかについては、今後の青少協地区委員会活動の動向を見守る必要がある。バス研修事業はこれからの地区委員会活動の更なる活性化にも寄与するものと考えており、その活動の活性化は行きつくところ青少年のためにも役立つものであると考える。
7	地域の昔のことを語り継ぐような文化やコミュニティの仕組みをして検討してほしい。	市内のコミュニティセンターでは、もちつきや七夕、盆踊り等の昔ながらの行事を実施しているほか、地域の青少協との共催でどんと焼きを行うなど日本の伝統行事の継承に取り組んでいる。ふるさと歴史館では子どもや高齢者の方を対象に、年に4回、「むさしの紙芝居一座」による口演を行っており、原始・古代から、江戸時代、近代、戦中の中島飛行機武蔵製作所や、戦後にいたるまでの市域の歴史に触れた、幅広いラインナップを楽しんでいただいている。
8	開かれた学校の意義について教えてほしい。	市では、学校運営協議会機能を有する「開かれた学校づくり協議会」を各小中学校に設置している。開かれた学校づくり協議会は、学校運営のパートナーとして、地域が主体的に学校づくりに参加する仕組みである。このような仕組みを生かしながら、子どもの育ちや求められる学校の姿を様々な視点で話し合い、地域の特色を生かした学校づくりを行っていく。
9	子供の人権について市で実施していることも教えてほしい。	令和5年4月に施行された武蔵野市子どもの権利条例に基づき、子どもの権利が尊重されるまちを目指して様々な子ども施策に取り組んでいる。例えば、子どもの意見を市の政策に届ける「Teensムサカツ」や学校での人権学習、子どもの権利の普及啓発の取組などです。また、令和6年10月に開設した武蔵野市子どもの権利擁護センター「まもルーム」では、子どもの権利侵害があった場合の救済を目的に、子どもたちの相談や想いを受けて、対応を行っている。

10	教育長のコラムの概要について教えてほしい。	教育委員会広報紙であるきょういく武蔵野の「教育長コラム」は教育長が日々感じていること、考えていることを市民の皆様と共有するために、つづったものを掲載している。 なお、武蔵野市ホームページには、同様に教育長の日ごろの思いや考えを教育長通信「大河」という形で掲載を行っている。
11	武蔵境通り、境南町の「血液センター」の信号から北へ聖徳学園に沿った区間(境南町1-2丁目境)は、車(救急車含む)、自転車、歩行者の通行量が少なくないが、歩道がなく電柱があつてとっても危険である。まず、船木園の前だけでも、1~2m幅の歩道を設置してほしい。	当該道路(武蔵境通り)は、都道である。 管理者である東京都北多摩南部建設事務所(代表 042-330-1806)にお問合せいただきたい。
12	境南町4丁目富士見通りの中華料理店前の歩道が植木鉢等の障害物で塞がれており、通行できない状況になっている。何度か市に伝えているが改善されない。	現在植木鉢等が置かれている場所は、用地取得が済んでいないため民地となっている。 富士見通りについては、集中買収期間(平成27年から平成29年)を設定し、一定の整備が進んだため、残りの敷地については、地権者の方の建て替えなどに合わせ、用地取得を進めていきたい。 用地を取得できるまでの間は、明らかに道路側にはみ出している状況があれば、地権者の方にお声がけし、改善してもらう予定である。
13	路上禁煙エリアでの喫煙について厳しく取り締まってほしい。	現在、マナー推進員が各駅の路上禁煙エリアを年間約200日巡回し、路上で喫煙している人に対する指導と吸い殻の回収を行っている。また、トレーラーハウス内には受動喫煙による健康への影響を示したポスター等の掲示をすることで喫煙者に対して周知啓発を行っている。 市民から受動喫煙に関する情報提供があった場合は、必要に応じて施設・店舗等に個別訪問をし、市民からの情報提供の内容を伝え、配慮を依頼することもある。路上禁煙、ポイ捨てシートの貼付やポスターの掲示、チラシの配布などでも喫煙マナー向上の啓発をしている。 また、受動喫煙防止について保健センターにて啓発資料(リーフレット等)の配架や、市ホームページでの情報発信を行っている。また、禁煙を考えている方を支援するために、禁煙のコツや治療方法、市内で禁煙治療が受けられる医療機関等についても、ホームページ等で情報発信を行っている。
14	武蔵境の市政センターでマイナンバー関係の手続きができるようにしてほしい。	マイナンバーカードに登載される電子証明書の発行・更新手続き、暗証番号再設定等の手続きは各市政センターでも実施している。 マイナンバーカード交付申請は、地方公共団体情報システム機構(J-LIS)に対して行うもので市に申請するものではないことから、市では手続きできない。郵送、スマートフォン、パソコン等による申請が可能。申請の際に必要な二次元コード付きマイナンバーカード交付申請書(ID入り申請書)は、各市政センターで発行可能となっている。 マイナンバーカードの受取り(交付)は、市役所のみで実施している。 交付場所の拡大は、カード管理のセキュリティ対応や実施スペースの確保、対応人員の増員など課題が大きいため、現状では対応が難しいが、今後もマイナンバーカードの交付を含めた、マイナンバー関係の手続きの利便性向上について対応を行っていきたい。
15	武蔵境駅付近の鳩へのえさやりについて対策をしてほしい。	武蔵境駅周辺で頻りに餌やりをしている人がいる件について、市へ複数の苦情が寄せられているため、承知はしているが、現状では、野生鳥獣であるハトへの給餌行為は、法令でその行為自体が禁止されているものではなく、過度な給餌行為を現認できた場合は、当事者に対し給餌行為の中止を要請して対応しているところである。 また、イトーヨーカドー前のけやきの木、エミオの支柱に「ハトにエサをあげないで」というポスターを掲示し、野生動物への無責任な餌やり防止の普及啓発を行っている。

当日文書で提出された意見(要約)

No.	ご意見	市の回答対応方針
1	吉祥寺駅からのムーバス(北西循環)の四中、緑町コミセン、クリーンセンターから扶桑通りに戻るコースを検討してほしい。	事前に文書で提出された意見NO1と同じ
2	2024年の日本の合計特殊出生率は1.15であるが、武蔵野市の合計特殊出生率はどのくらいか教えてほしい。社会増だけでなく、自然増を増やす政策を考えてほしい。	東京都が公表している当市の合計特殊出生率(令和6年)は、1.00となっている。 少子化への対応は重要な課題であり、子どもを安心して生み育てられる環境づくりが必要だと認識している。 子どもの分野においては、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行うとともに、子どもの権利条例に基づき、子どもが健やかに育つことができるまちづくりを進めていきたい。 子ども一人ひとりの健やかな成長のため、保健師等の専門職が妊産婦と家族に寄り添い、妊娠期から子育て期までの切れ目のない伴走型相談支援を実施しており、市民が武蔵野市で安心して子育てができるよう支援している。
3	武蔵野市の運動や測定、講座などで境南コミセンをもっと活用してほしい。	市内19カ所(分館を含む)のコミュニティセンターでは、地域ボランティアの方々による自主三原則(自主参加・自主企画・自主運営)に基づくコミュニティ活動が行われている。コミュニティ活動の場であるコミュニティセンターでは、地域住民の方による活動が優先して行われており、市の事業での活用については、館の運営を行うコミュニティ協議会と協議のうえ検討していきたい。
4	地方から上京した学生のためにも、武蔵野市地域自由大学の学生が集まって交流できる場所を作ってあげてほしい。	武蔵野地域自由大学は、独自のキャンパスはありませんが、市と武蔵野地域の五大学(亜細亜大学・成蹊大学・東京女子大学・日本獣医生命科学大学・武蔵野大学)が連携して提供する高度で体系的な学習の場であり、五大学のキャンパスおよび武蔵野地域全体を学習スペースとしている。大学の学生と共に学ぶ正規科目履修や五大学すべてを回る連続講座である共同教養講座、自由大学学生のみが受講できる自由大学講座等、様々な講座があるため、それぞれの中で交流の輪を広げていただければと考えている。 なお、大学の正規の授業を学生と共に学ぶ場もあるため、高校・大学在学者を除く、18歳以上を入学要件としている。
5	学校施設整備計画は、もっと全市的に議論してほしい。	現在、第二期学校施設整備基本計画策定審議会において、子どもの学びを第一に、全市的な視点から中学校の適正な数や未来における教育を見据えた校舎のあり方について、建築面や財政面など様々な観点も含めて審議されているところである。 教育委員会では、審議会の開催ごとにリーフレットを作成し、市報・ホームページ等も活用しながら周知をしたり、3駅圏説明会等を開催していると聞いている。 計画策定にあたってはパブリックコメントを実施し、広く市民からの意見も聞きながら計画を策定していく予定である。
6	武蔵野市の病院関係で3点伺いたい。 ①市議会ですべてに対して病床数を確保要請しているか。 ②量の確保は大切だが、市民が病気になってもすぐ入院出来る体制があるかが大切なので、これを確保してほしい。 ③又、量の問題だけでなく、医療の質が悪いと聞いている。この質の向上にも市として対応してほしい。	①令和7年12月17日に市議会において全会一致で可決された「市民の命と健康を守るために、地域特性を踏まえた持続可能な病院を整備するための病院配分を求める意見書」では、東京都指定二次救急医療機関及び災害拠点連携病院の機能を有し、持続可能な病院が吉祥寺地域に整備されるために、武蔵野市の実情や地域特性を踏まえた病床配分がなされるよう東京都に要望している。 ②市民が病気になったときにすぐに入院できるためにも、一定規模の病床が必要であると考えている。地域の医療需要を把握しながら、事業者と病院整備に関する調整を進めていく。 ③医療の量や質を担保するために、昨今の物価高騰や人件費上昇を踏まえ、市では地域医療確保緊急支援補助金等の総合的な病院支援を行っている。

7	地域の災害情報や防災訓練について市としてもっと周知をしてほしい。	災害情報については、市HPや防災行政無線、各種SNS等で行っている。防災訓練については、各地域と連携しより多くの方に参加していただけるよう周知の方法を検討していく。
8	将来を見据えると、人口減による財源不足が見込めるため、目先視点だけでなく長期的な視点に立った政策をお願いしたい。	ご指摘のとおり、長期的な視点を持った市政運営が重要と考える。本市では、長期計画に基づいた計画行政を半世紀以上にわたり継承し、大切にしている。長期計画の実効性を担保し、規律を持った財政運営を行うための仕組みとして、長期計画策定の度に将来人口推計を実施と、それに基づく財政計画の作成を行っている。
9	市民が交流できる場(caf�eなど)を駅前など人が集まる所に作ってほしい。	市内に16館あるコミュニティセンターには、来館した方が自由に利用して談話できるロビーやサロンがある。定期的にカフェ事業を開催しているコミュニティセンターもあるので、ご活用いただきたい。
10	物価高騰対策の5,000円ギフトカードの配付にあわせて、PayPay促進事業にも参加してほしい。	物価高騰対策支援事業は国から市へ交付される重点支援地方交付金を活用して実施しているが、PayPay等のキャッシュレス決済は利用できない市民の方もいることから、より多くの方が利用しやすいギフトカードを全市民に配付することとした。
11	境南ふれあい広場公園は盆踊りに限らず、いろいろなイベントを活発にやってほしい。またいつどんなイベントを行うのか情報をもっと知りたいので、トイレの掲示板にもう少し先のイベントを掲示するなど検討してほしい。	現在でも地域の活性化や賑わいを創出するイベントが複数開催されているが、地域の皆様のご理解とご協力のもと、引き続き公園管理者として必要な支援をしていきたい。なお、トイレの掲示板については、所管する(公財)武蔵野文化生涯学習事業団と頂いたご意見を共有させていただきたい。
12	ムーブスの乗車を都市バスのように高齢者を1,000円くらいで利用できるようにしてほしい。	ムーブスの運賃のあり方について、東京都のシルバーパスの導入可能性も含めて検討している。
13	1~2年前、市役所の職員との電話のやりとりが冷たく悲しい思いをした。職員に対する研修等は実施しているか。	新たに採用された職員等を対象として、コミュニケーション研修(接遇研修)を実施している。研修内では、基本的なコミュニケーションマナーのほか、電話応対についても訓練している。今後も、ご意見も踏まえつつ、不快と受け止められるような対応を行わないよう、研修の機会に通じて意識づけを行っていく。
14	来年度以降も語ろう会については継続して実施してほしい。	市民の皆様との直接の対話機会は貴重と捉えている。地域の課題や様々な意見、提案を聴き、今後の市政運営に生かしていくために、今後も継続していきたい。
15	境南盆おどりについて、現状地元の支援者や企業からの寄付によって運営しているが、物価高騰によって数年赤字となっている。武蔵野市の文化を後世に残すためにも財政援助策を検討してほしい。	現状、武蔵野市では市民活動としての盆踊りに対する財政援助等は行っていないが、境南盆おどりの実施状況をお伺いしたうえでご案内できることがある可能性があるため、個別にご相談いただきたい。